

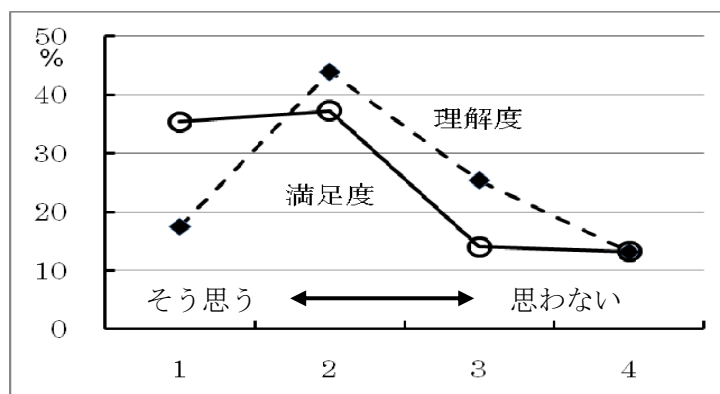
2010 年度後期授業アンケートの結果とその内容報告

平成 22 年度生命科学部 F D 委員会

2010 年 12 月実施 (11 月 26 日～12 月 19 日)

回答率： 1 年 54%、 2 年 26%、 3 年 11% (4 月人数比)

§ 1. 1 年生全科目まとめた理解度と満足度



1 年全体の結果

満足度

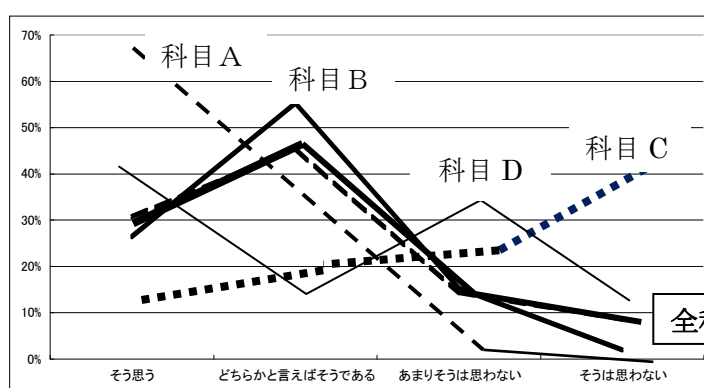
73%が概ね満足 13%は不満

理解度

61%が概ね理解した

13%は全く理解していない
と思っている。

§ 2. 「9. 総合的に見て満足できますか。」の質問に対する科目ごとの回答分布例。



科目 A：評判の良い状況。理解度も高い。

科目 B：平均的

科目 C：受講学生とのマッチングが悪い。

学生の学力と合っていないか、講義技術が学生に対して不適切。

科目 D：満足している学生とあまり満足していない学生の 2 極分布。

学年別および専門科目における満足度分布型の科目数 (カッコ内は%)

(満足>やや満足を A 型、不満>やや不満が 50%以上を C 型、逆 N 字型を D 型とした)

	調査全科目における満足度分布					専門科目における満足度分布				
	A 型	B 型	C 型	D 型	合計	A 型	B 型	C 型	D 型	合計
1 年	9 (56)	5 (31)	2 (13)	0 (0)	16	4 (57)	2 (29)	1 (14)	0 (0)	7
2 年	4 (33)	7 (58)	1 (8)	0 (0)	12	2 (20)	7 (70)	1 (10)	0 (0)	10
3 年	14 (52)	10 (37)	0 (0)	3 (11)	27	9 (43)	9 (43)	0 (0)	3 (14)	21
合計	27 (49)	22 (40)	3 (5)	3 (5)	55	15 (39)	18 (47)	2 (5)	3 (8)	38

§ 3. 授業アンケート 質問項目

1. 学年を選択して下さい。
2. 3 年生は所属コースを選択してください。

3. 性別を選択して下さい。
4. 講義の内容を概ね理解できていますか。
5. 教員の話し方（声の大きさや速度など）は適切ですか。[PBL 形式の場合は講義の目的は適切ですか。]
6. 板書は有効に利用されていますか。黒板の字の大きさや読みやすさなどは適切ですか。[PBL 形式の場合は、シナリオは適切ですか。]
7. 教科書や補助資料（プリントや OHC、パワーポイントなど）、参考書等は有効に使われていますか。[PBL 形式の場合は課題は適切ですか]
8. 講義を受けやすい環境（静かさなど）は守られていますか。
9. 総合的に見て満足できますか。
10. あなたの出席率はどのくらいですか。
11. 予習、復習などの勉強にかかる時間は、語学以外は 1 日どのくらいの時間ですか。
12. 語学（英語他）に関して、授業以外に 1 日平均どのくらい勉強していますか。
13. 授業計画（シラバス）を利用していますか。*
14. 講義に 10 分以上遅刻することがありますか。
15. 講義の途中で退室することがありますか。
16. 講義中に雑談することがありますか。
17. これまで学んできた生命科学部の教育全般に関して満足していますか。
18. 講義や実習で、良い点と思うことを書いてください。
19. 講義や実習で、直してほしいと思うことがあれば書いてください。

§4. 意見のまとめ カッコ内は人数

1 年生の意見： **よい点：** パワーポイントがあるとイメージしやすくてよい（2）； 前期に比べると、満足のいく講義を受けられるようになったと思う； ほとんどの講義が静かで受けやすい環境になっている； 演習の課題を出してもらえる講義が多く、大変ですが学習に対する理解の助けとなっています； 授業中うるさい授業が減った； 先生方はそれぞれの専門分野に特化した方が多く、授業の詳しい説明や質問に対する丁寧な説明をしてくれる先生が多いこと； 向上心のある友達が増えたこと； レポート課題も同様に役に立って良い； 教授や講師、TA など先生方は、みんな熱心に教えて下さる； 授業中ごちゃごちゃうるさい生徒をしっかり注意できる先生はすばらしい。「消しゴム貸して」ぐらいの会話をいちいち敏感に反応してくる先生は嫌い； その授業の講義ばかりでなく就職情報などの話をしてくれる先生はいい。1 年生である今、どんなことをすればいいのか勉強になる； とても親切な TA さんがいてくれる。

改善してほしいこと： 板書の見づらさ（2）； 成績評価方法の公表； 1 年次の選択科目の充実； 教員間の教育力格差； 興味の持てる授業の希望； 記憶重視の講義に対する不満； パワーポイントに対する不満（6）； 課題が多すぎる； 教科書購入に対する不満； Codex にアップしてほしい； 講義のレベルアップの希望； レベル別クラス分けの希望； セメスター途中で教員交代

実習： 終了時間が知りたい（自宅への連絡）； 実習説明に対する不満。声とホワイトボード； 課題やレポートの量に対する不満； 項目ごとのばらつき（時間、事前説明、レポートの書き方等）； 順番待ち（時間節約）

全体に関する2年生の意見： よい点： ノートを見て講義が思い出せる板書； Codex 課題は予習・復習に取り組みやすい； 新たなことを知る授業； 疑問に思っていたことがわかる授業； プリントの利用； 動画の利用。 **実習：** いろいろな実験道具を使える。

改善してほしいこと： 私語に注意してほしい（4）。特に出席をとる授業ではざわついていることが多い； クラスによって、実習と授業（主に試験）の時間割に差がありすぎる； 前期・後期においての実習レポートめ切りと試験が間近にあったこと、そのどちらもが特定のクラスにのみ集中していたなど、時期を考慮してほしい； 先生の準備不足によって、授業がとまったり、話があちこちに飛んだり、戻ったりすることは直してもらいたい； 先生が持っている教科書が古くて、自分たちの教科書とページがずれていたりするのは困る； 先生によっては板書が汚すぎる。読めないときがある； 黒板をフルに使っているせいで下のほうが見えないことがある； 黒板をすぐに消す、あるいはすぐに次のスライドに移ってしまう先生が多い。特にスライドに関しては書き終わるまでの時間を見積もって欲しい； プリント配布の場合あまり大量に配られても整理に困ったりするので、なるべくひとつひとつをサイズ小さくして詰めたり、要点だけにしぼって欲しい； 声が小さい 滑舌が悪すぎるのに早口だからゆっくり話して欲しい； 演習問題はヒントだけでなく、解説してほしい； パワーポイントを Codex に up してほしい。

実習： 後ろの席で先生が話していることが聞こえないことが多い（3）； 提出期限などの連絡事項は後ろのホワイトボードに書いて欲しい（2）； 後方に座っていたら、先生の話が聞こえず、ホワイトボードが見えない； 聞こえない時、聞き直しにくい； 実習の説明は初日にまとめてしてほしい

全体に関する3年生の意見： よい点： リフレクションペーパー（感想や質問を書かせて講義に反映させる取り組み）； （PBL）授業中に意見交換すると新しい考え方や見方が出てくる。

実習： 実習書がわかりやすい； 列ごと等の小グループでの説明は聞き取りやすい

改善すべき点： 講義中の雑談； マイクの音量調節； スライド等のカメラでの撮影； まとめのプリント等がほしい。 **実習：** TAを増やしてほしい。

その他： 「アンケートは匿名なのか」という疑念

§5. 講義に対する注目すべき意見（講義技術の面）

前期と同じであるが、アンダーラインは今回も記載あり

話し方・・・ 声の大きさ、歯切れよさ、言葉を明確に、語尾をしっかりと、間（ま）のとり方
内容と結論の明快さ（断定すること）、まとめなおし

新しい項目へ移る時の導入（講義の目的や背景など）

板書・・・ 字の大きさ、濃さ、単語でなく文に、板書の場所、重ね書きは不満増幅
パワーポイントを用いる場合には、文字を大きくすること

文字や表し方を教科書やプリント、パワーポイント等で一致させること
教科書・・・易しすぎず難しすぎず（易しすぎるよりはやや難しい方がいい）

理解度確認（学生にとっての試験対策）・・・演習、小テストの実施、課題の解説
質問の時間や紙に記入（リフレクションペーパー）など[双方向]、Codex の利用
成績評価や学生との対応における平等さ（えこひいきに注意）

学生とのマッチングを高めるポイント： ①話し方（明快な言葉と結論） ②難易度
③板書、パワーポイント ④双方向性 ⑤公平性

§6. 学生の授業に臨む態度に関するアンケート結果

（1）授業外学習時間 （③のカッコ内は前期）

①1 年生[112 人]1 日の学習時間（語学以外） 約 41 分

3 時間以上 3 人、2～3 時間 7 人、1～2 時間 32 人、1 時間未満 44 人、ほぼ 0 時間 24 人

上記左 3 項目は最低時間とし、1 時間未満を 0.5 時間として荷重平均計算より 50 分を算出

②1 年生 1 日の学習時間（語学） 約 31 分

2 時間以上 3 人、1～2 時間 32 人、0.5～1 時間 26 人、30 分未満 29 人、ほぼ 0 時間 22 人

上記左 3 項目は最低時間とし、0.5 時間未満を 0.25 時間として荷重平均計算より 30 分を算出

③1 年生[112 人]（語学以外）41(50)分、（語学）31(30)分

2 年生[54 人]（語学以外）40(46)分、（語学）27(31)分

3 年生[21 人]（語学以外）28(25)分、（語学）29(14)分

（2）シラバスの利用 時々あるいはよく見る人の割合 （カッコ内は前期）

1 年 47 (53) % 2 年 44(49) % 3 年 57(65) %

（3）「よくある」、「時々ある」の回答者の割合 （カッコ内は前期）

	遅刻（10 分以上）	途中退室	講義中の雑談
1 年	31(25) %	10(5) %	36(35) %
2 年	24(30) %	11(21) %	41(43) %
3 年	38(53) %	14(16) %	29(33) %

（4）学部教育全般に関する満足度 （カッコ内は前期）

	満足	概ね満足	まあまあ	やや不満	不満
1 年	7(10) %	36(28) %	37(47) %	11(14) %	10(1) %
2 年	2(4) %	39(36) %	46(42) %	9(16) %	4(2) %
3 年	14(6) %	24(31) %	57(45) %	0(8) %	5(10) %

結果から見出される特徴等：

講義に対する満足度

・前期に比べて C 型と B 型が減少し、A 型が増加した。

- ・ 3 年生の回答数は少ないが、新たに D 型が現れた。
- ・ 1, 2 年次における C 型の存在。

個別意見から

- ・ 前期のアンケートと比較して、1 年生の意見に変化あり（表現が受容的）。
- ・ 講義の場の良好な雰囲気維持努力、理解の確認、将来の展望を満たすあるいは見せることが大切。

教授総会での報告：

- ・ 各講義に関して、科目 C タイプに関しては、学生とのマッチング改善の依頼。
特に、話し方、難易度
- ・ 実験室での説明は後ろの学生が聞こえるように話す。
- ・ パワーポイントが使われる場合は、文字を太く大きく。（ゴシック 28 p 以上）
- ・ 講義は、可能な限り双方向（学生の意見に耳を傾ける形式）。